



# がん診療相談室・がんサロン『ゆい』たより 早春号

## がん診療相談室について

- ☆全国の「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」に設置されている、がんに関する相談窓口です。これらの病院は、全国どこにお住まいでも質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した施設です。
- ☆看護師やソーシャルワーカーががん専門相談員として対応しています。
- ☆院内外のがん患者、家族、支援を求める方など、無料・匿名で利用できます。
- ☆診断や治療の状況にかかわらず、どんなタイミングでも・どんなことでも相談できます。
- ☆相談内容は、同意なく他の人に知られることはありません。
- ☆あなたの担当医に代わって治療について判断するところではありませんので、ご注意ください。



## 主な相談内容 (例)

- ☆検査・治療・副作用・・・自分のがんや治療について詳しく知りたい、セカンドオピニオンの受診方法
  - ☆がんの予防や検診・・・がん検診で再診の通知が来て不安でたまらない
  - ☆医療者とのコミュニケーション・・・先生の説明がわからない、医療者に質問があるが上手く伝えられない、何を聞けばいいかわからない
  - ☆療養生活の過ごし方・・・自宅で療養したい、治療の副作用や合併症とうまく付き合いたい
  - ☆経済的負担や支援・・・活用できる助成や支援制度、介護、福祉サービスを知りたい、介護保険の手続きを知りたい、仕事、育児、家事のことで困っている
  - ☆社会との関り・・・病気について職場や学校にどのように伝えたらよいか、仕事を続けながらの治療はできるか
  - ☆患者さんやご家族の心のこと・・・気持ちが落ち込んでつらい、思いを聞いてほしい
  - ☆緩和ケア・・・地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか、治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらよいか
  - ☆ゲノム・・・検査内容について知りたい、ゲノム検査を希望だがどこに連絡したらよいか、申し込み方法を教えてほしい
- .....
- ☆AYA 相談窓口・・・AYA（15～39歳）世代の方の治療、普段の生活、学校、仕事、将来のことなどの相談に対応しています。
  - ☆希少がんホットライン・・・2023年12月に開設しました。希少がんは、人口10万人当たりの年間発生率（罹患率）が6例未満の方です。国内でも希少がんホットラインは7施設のみのため、全国からの相談を受けています。

☺☺☺☺☺上記以外でも困りごとなどがありましたらご相談ください☺☺☺☺☺



## がんサロン『ゆい』について

- ☆『ゆい』の由来は、ゆい（結い）とは、「助け合い」という意味で広く使われる方言で、そこから『ゆい』と名付けられました。
- ☆『ゆい』では、患者さん・ご家族の交流や情報交換の場です。図書の見学や貸し出し、茶話会や講話などのイベントを企画しています。
- ☆患者会の紹介や社会労務士による相談会やハローワーク相談会も行っております。



## イベントの紹介

講話：3月3日（月）14:00～15:00

緩和医療学分野の井上 彰教授より

テーマ：「がんと診断された時からの緩和ケア」

AYA イベント：3月6日（木）10:00～12:00

詳しくは、がん相談室前のポスターやホームページをご覧ください。

コロナで講話を中止していましたが、この度再開となりました



## がん診療相談室のご案内

月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始除く）

8時30分～17時15分（受付は17時まで）

☎ 022-717-7115

相談員：根本・仙道・畠山・斎藤

